

西山瞳 西 山 瞳  
piano

かみむら泰一 かみむら泰一  
sax

※マスクの着用を必ずお願いいたします。  
※ご入場の際、備え付け、又はご持参の消毒液にて手を消毒して下さい。

2022 01月22日(土)

開場 18:30 night live

開演 19:00

(短めの、2ステージ入替なし)(1drink=600~)

MC=3300円 +2drinks order

CAFE BEULMANS

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail: info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、  
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を  
ご記載下さい。



西山瞳

6歳よりクラシックピアノを学び、18歳でジャズに転向。大阪音楽大学短期大学部音楽科音楽専攻ピアノコースジャズクラス在学中より、演奏活動を開始する。卒業後、エンリコ・ピエラヌンツィに傾倒。2004年、自主制作アルバム「I'm Missing You」を発表。2005年、横濱ジャズブロードワード・ジャズコンペティションにおいて、自己のトリオでグランプリを受賞。2006年「Cubium」をスパイスオブライフ(アミューズ)よりリリースし、デビューする。「Many Seasons」「In Stockholm」と、2枚のスウェーデン録音作品をリリース。2008年「Parallax」では、HMV ジャパンジャズチャート1位を獲得、スイングジャーナル誌日本ジャズ賞にノミネートされる。2010年、アメリカで最大規模の作曲コンペティションであるインターナショナル・ソングライティング・コンペティション(ISC)で、全世界約15,000エントリーの中から自作曲「アンフォールディング・ユニバース」がジャズ部門で3位を受賞。合わせて、自作曲「ソウル・トラベル」がセミファイナルに選出され、コンポーザーとして世界的な評価を得た。2011年発表「Music In You」では、CD Journal誌2011年のベストディスクに選出される。2014年には最新トリオ作「Shift」を発表。

公式ホームページ <http://hitominishiyama.net/>



かみむら泰一

響きと空間とジャズをテーマに独自の音楽を創作している。85年ごろからジャズサクソプレーヤーとして演奏活動を開始、94年訪米、ボストン、NYで活動、NY滞在中にデューイ・レッドマンより直々に指導を受けサクソの響きの神髄を伝授される。2000年前後のNYダウントアウンのオリジナルジャズシーンに影響を受け、2000年帰国後は、オリジナル・ジャズの演奏活動と開始、並行して完全即興演奏にも取り組み始める。現在までにオリジナルジャズのアルバムをかみむら泰一 Quartetで2枚「A girl from New Mexico」「喉の奥から生まれそうな感じ」、Sax Trio オチコチ(是安則克b、橋本学dr)で1枚リリース。2016年世界にはコントラバスの即興演奏家、齋藤徹氏と Duo アルバム、かみむら泰一&齋藤「choro&improvization」をリリース。2021年1月スイス人ピアニストのクリス・ウィーゼンダンガーとの Duo「山の猫は水脈をたどる」をリリース。近年はオーネット・コールマンのフリージャズを独自の視点で取り組み、オーネットジャムセッションを定期的に開催、2つのグループにてライブ活動を行っている(渡辺隆雄tp、落合康介b、則武諒dr かみむら saxの4人、田嶋真佐雄b 白石美徳drとかみむら saxのトリオ)。2021年1月埼玉市民会館うらわホールにて「Ornette Coleman Music Concert」、3月「オーネットの音楽とダンス」公演を行う。自主企画では物音からセッションを始める”縄もんセッション”や、音の体験講座を不定期に開講している。